

	進学希望	就労希望	障害福祉サービス利用希望	
			福祉的就労	生活介護等
1年 前期	<ul style="list-style-type: none"> 学力と応用力の向上を図る。 各種検定を受験し、資格を取得する。 自己の能力と適性を知る。 自分に合った進学先を考える。 	P検やMOS資格等、就職に役立つ各種検定について調べる。	第Ⅰ期進路体験実習（校内実習：生徒の実態、進路想定により各実習班での実習）	
1年 後期		校外実習を通して、将来、働くことについて考え、自己の能力と適性を理解し、将来の仕事の適性を踏まえ、進路選択に生かす。	進路体験実習（校内実習）等を通して自己の適性を知り、将来の進路選択に生かす。実習報告会等を通して、おおまかな自分の進路先（校外実習先）について考える。	
2年 前期	自分の進路先の通学・通勤の方法を考え、必要に応じて、運転免許の取得方法や手続きの仕方について学習する。	希望の職種や進路先に就職するために必要な検定、資格等を調べる。	進路希望や卒業後のスケジュールを想定し、校外実習先を決める。	
2年 後期		希望の職種や進路先に就職するために必要な検定を受験したり、資格を取得したりする。	第Ⅰ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
3年 前期	<ul style="list-style-type: none"> 志望校の決定と受験の対策（論文、面接、配慮申請等） 受験科目の重点学習 	希望の職種や進路先に就職するために必要な検定を受験したり、資格を取得したりする。	進路希望や卒業後のスケジュール、第Ⅰ期の実習経験などから、次回の校外実習先を決める。	
			第Ⅱ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
3年 後期	<ul style="list-style-type: none"> 受験の準備 入学試験 	障害者雇用に向けて、一般事業所と雇用条件等を最終調整する。	進路希望や卒業後のスケジュール、2年生の実習経験などから、次回の校外実習先を決める。	
		就職内定者は、障害者就業・生活支援センターへの登録を勧める。 ※ 強制ではない。	第Ⅰ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
夏の福祉相談・説明会（参加者：生徒、保護者、学級担任、相談支援専門員） ※ 地域によっては、近隣の特別支援学校と合同で実施する。 居住地の障害福祉担当課に出向き、卒業後の生活や障害年金などに係る給付の支援、必要となる手続きについての説明を聞く。				
3年 後期		障害者雇用に向けて、一般事業所と雇用条件等を最終調整する。	第Ⅱ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
		就職内定者は、障害者就業・生活支援センターへの登録を勧める。 ※ 強制ではない。	「進路希望最終確認票」を取りまとめ、卒業後の進路先を決定する。 福祉事業所に最終的な受入れを依頼し、利用する曜日等について調整して決定する。	
			進路先が決まっていない場合、必要に応じて臨時的校外実習を実施する。	
卒業後の進路先で移行支援相談を実施する。（参加者：生徒、保護者、学級担任、相談支援専門員、又は就労支援員）				